

## 読むこと 指導のポイント

(その4)

### ～リーディングタスクの工夫 「推論発問」の活用～

「推論発問」って以前も聞いたことがあります、具体的にどんなものですか？



#### 推論発問とは



テキストを基に推論を要求する発問、言い換えれば、テキストから直接答えを抜き出すことができない質問。英語の授業では、長文読解のリーディングタスクとして活用されることが多い。

一方、テキスト上に直接示されている内容を読み取らせる質問を一般的に「事実発問」と言われています。

推論発問では、よく次のようなことが問われます。

(テキストに書かれていない)

- ・筆者が訴えたいこと
- ・登場人物の気持ち、性格、意図
- ・行動や台詞

もっと、たくさんあります。

等

また、推論発問には、事実発問と違い、次のような利点があります。

○ テキストを基に、背景知識（スキーマ）を活用しながら推測させることで、深く思考させることができます。

⇒ 必然的にテキストを繰り返し読ませることになります。  
注意深く、全体と細部を読ませることになります。

なるほど、英文の長文読解などでは、大切な発問になりますね。今までの指導では、「事実発問」中心のタスクが多かった気がします。全て「推論発問」にしたほうがよいですか？





そうではありません。英文の内容把握には、事実発問は欠かせません。テキストに直接示されている情報を的確に把握しなければ、「推論発問」には答えることができません。

※「推論発問」から与えるケースもありますが、テキストの情報を的確に確認する過程は必ずあります。

そのような点を鑑み、本HPでは、USE Read の長文読解の指導例として、次のように指導例を示しています。  [\*\*Click here!\*\*](#) 読むこと 指導のポイント（その2）

USE Read の長文読解を2時間扱いで計画し、1時間目は教科書の In-Reading のタスク（事実発問が中心）に取り組ませ、2時間目で、推論発問を使ったタスクに取り組ませる授業展開を提案しています。

2時間目の展開の一部分（再掲）

段階	時間	・活動内容	○留意点等
<b>In-Reading</b>			
(1) In-Reading 3	(5)	・教科書 In-Reading タスク 3	
(2) In-Reading 4	(10)	・本文から推測して答えるタスク ○それぞれ解答する前に、ペア、グループ等で読み取った結果などについて話し合わせる。タスク毎に行ってよい。	これが、推論発問

推論発問を作成する場合は、次の点に留意するとよいでしょう。

- 生徒が意欲的に読解に取り組めるものにする。
- 生徒がテキストの英文を根拠に考えられるものにする。
- いろいろな答え、考え方を引き出すことができるものにする。

推論発問の活用は、あくまでも「深い読解」をするための、手立ての一例です。In-Reading や Post-Reading において、英文に対する意見や考えなどを求めるタスクを課す事例など他にも手立ては数多くあります。



文構造の説明を丁寧に行ったり、訳を与えてたりするだけでは、本当の「深い読解」はできません。各校の実態に応じ、リーディングタスクを工夫してほしいと思います。